



2019年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2019年2月14日
株式会社ぱど
(東京証券取引所JASDAQ 証券コード4833)

(1) 第3四半期決算概要

- ✓ 第3四半期の営業利益は55百万円の黒字転換
- ✓ 累計営業利益は▲276百万円で着地

(2) 事業構造改革の進捗状況

- ① 既存媒体の媒体価値向上
- ② 新領域として地域ビジネス促進
- ③ サンケイリビング新聞社との協業
- ④ 人財OS事業（派遣・紹介）等の抜本的見直し

第3四半期売上・営業利益推移

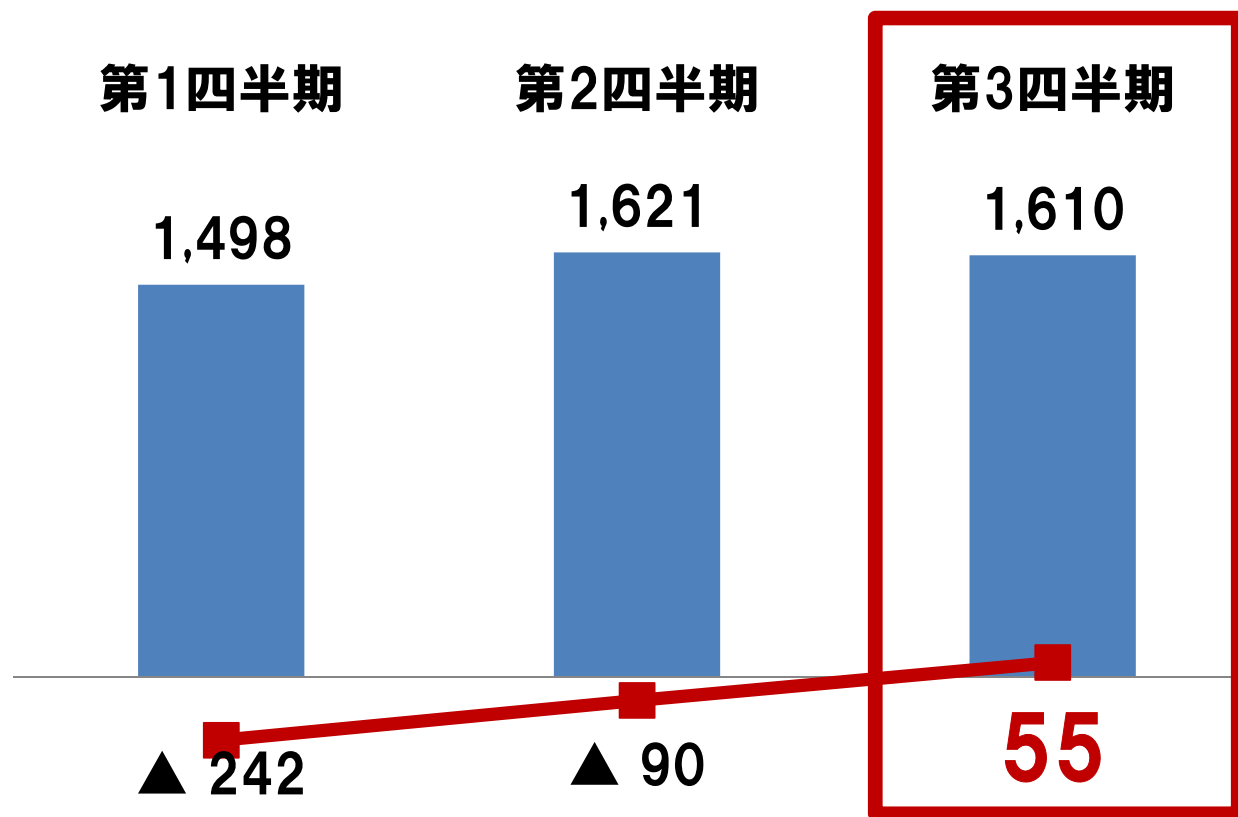


第3四半期の営業利益は55百万円の黒字

(単位:百万円)

2019年3月期
四半期 売上・営業利益推移

■ 売上 ■ 営業利益



- ✓ 売上を維持
(前四半期比)
- ✓ 増益を実現
(前四半期比)

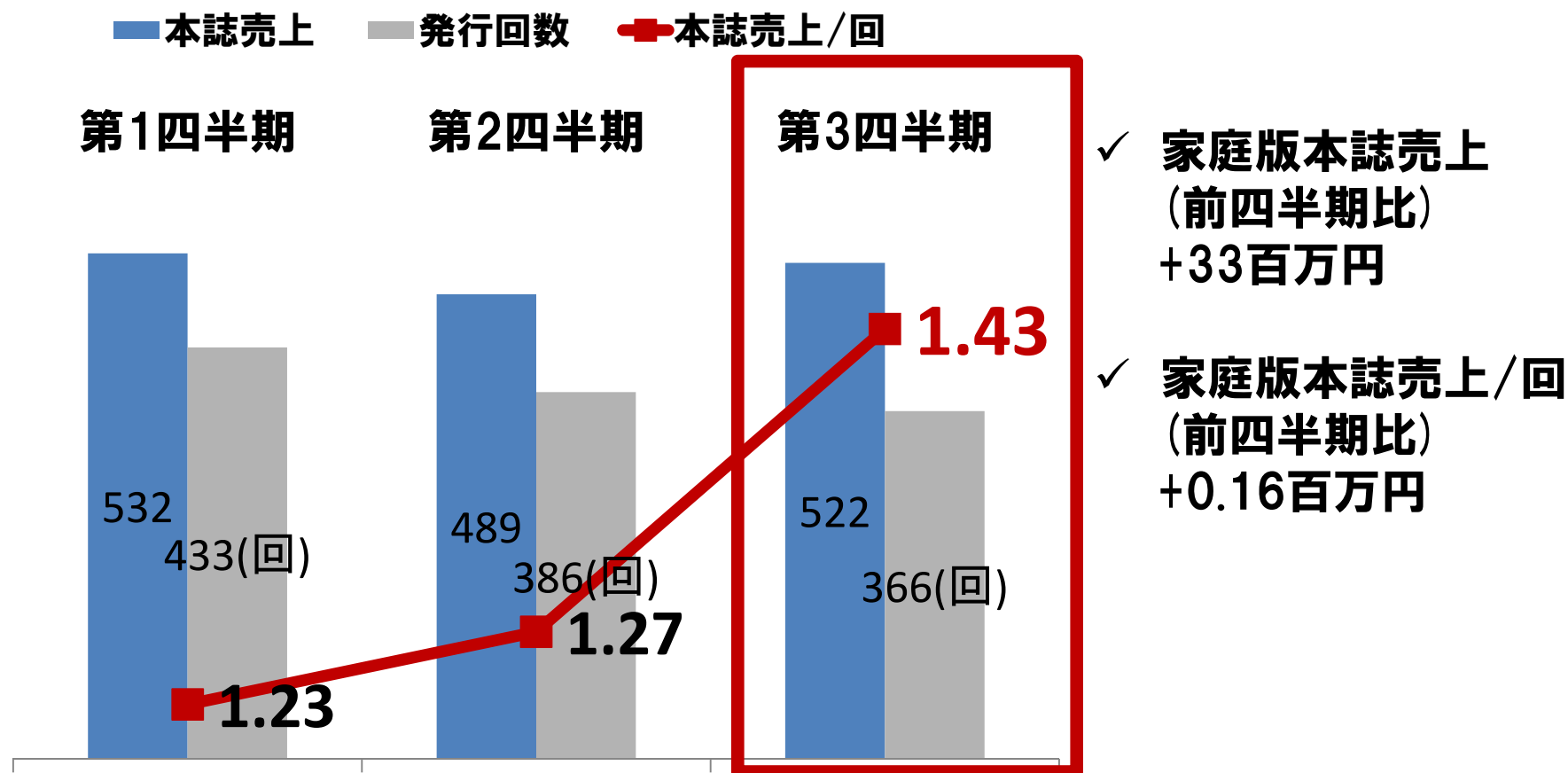
第3四半期黒字化要因



昨年度に実施した家庭版メディアの不採算エリア見直しによって発行数は減少したが、発行1回あたりの本誌売上が改善

(単位:百万円)

2019年3月期
四半期 家庭版本誌売上・発行数推移



第3四半期黒字化要因

人財OS事業（派遣・紹介）のRIZAPグループへの業務移管、賞与・諸経費の抑制などで販管費を低減

(単位:百万円)

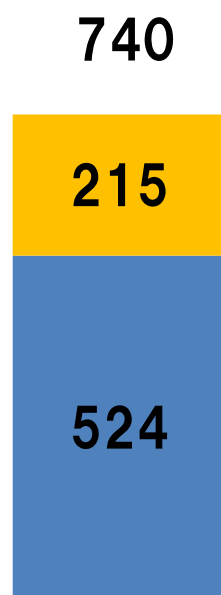
2019年3月期
四半期 販管費推移

■ 人件費 ■ その他経費

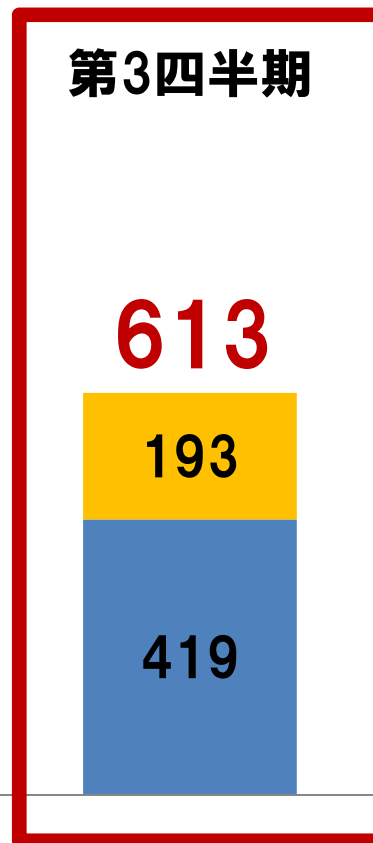
第1四半期



第2四半期



第3四半期



- ✓ 人件費
(前四半期比)
▲105百万円
- ✓ その他経費
(前四半期比)
▲21百万円

連結損益計算書(要約)



第3四半期累計の売上高4,730百万円(前年同期比▲367百万円)
営業利益は▲276百万円(前年同期比▲253百万円)

(単位:百万円)

	2018年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	5,098	4,730	▲367	▲7.2%
売上総利益	2,229	1,871	▲358	▲16.1%
販管費	2,253	2,147	▲105	▲4.7%
営業利益(損失)	▲23	▲276	▲253	-
経常利益(損失)	▲22	▲252	▲230	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益(損失)	▲46	▲551	▲504	-

連結貸借対照表(要約)



株式会社リビングプロシードが連結対象となり、資産・負債共に増加

(単位:百万円)

資産の部	2018年 3月期	2019年 3月期 第3四半期	増減
流動資産	3,117	3,506	389
(現金預金)	1,781	1,916	135
固定資産	453	564	111
資産合計	3,570	4,071	500

負債・ 純資産の部	2018年 3月期	2019年 3月期 第3四半期	増減
流動負債	1,951	2,062	110
固定負債	346	298	▲48
負債合計	2,298	2,361	62
株主資本	1,209	1,663	453
純資産合計	1,272	1,710	438
負債純資産 合計	3,570	4,071	500

(1) 第3四半期決算概要

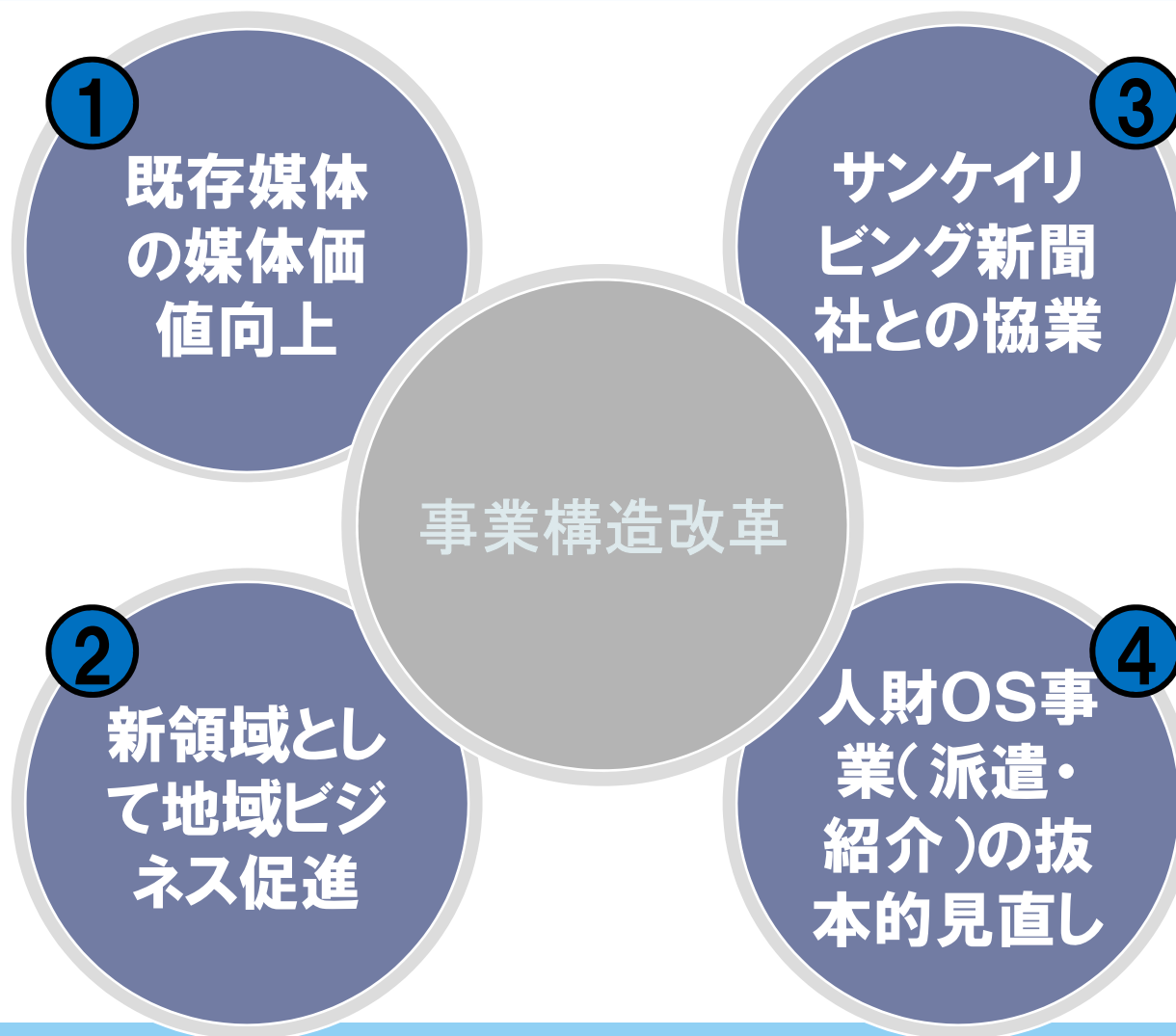
- ✓ 第3四半期の営業利益は55百万円の黒字転換
- ✓ 累計営業利益は▲276百万円で着地

(2) 事業構造改革の進捗状況

- ① 既存媒体の媒体価値向上
- ② 新領域として地域ビジネス促進
- ③ サンケイリビング新聞社との協業
- ④ 人財OS事業（派遣・紹介）等の抜本的見直し

再掲 事業構造改革基本方針

2018年7月31日リリース「事業構造改革に関するお知らせ」参照

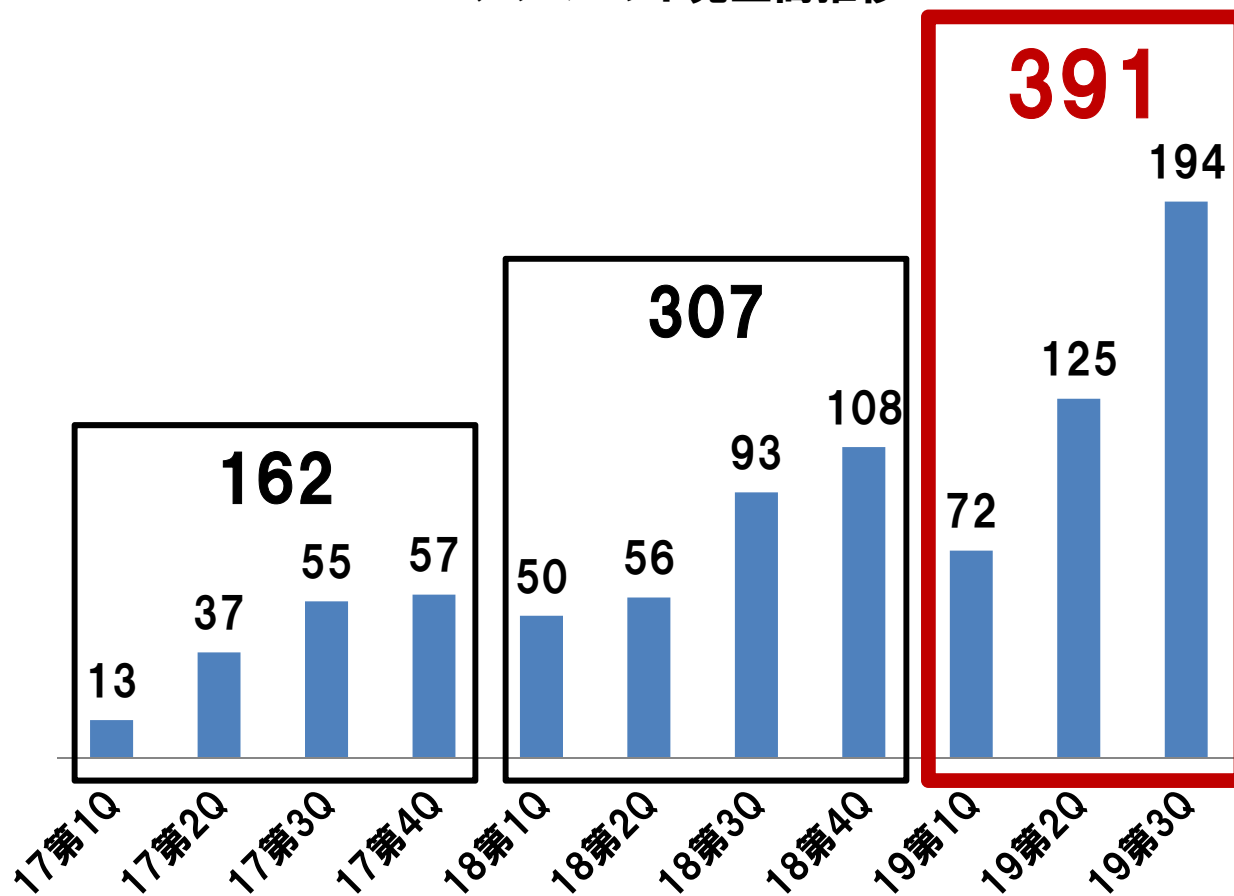


① 既存媒体の媒体価値向上

新しい成長の柱である富裕層向けターゲットメディア「アフルエント」が、過去最高の売上高を継続

(単位:百万円)

アフルエント売上高推移



✓ アフルエント売上
(前期比)
127%



②新領域として地域ビジネス促進

2018年8月に新設した地域ビジネス創造部で、全国の自治体に対し
広告に留まらない提案活動を行い、新たな事業価値を創造

(福島県)

県の移住事業を受託し
福島への移住促進をサポート

「おいしい恋活。」
首都圏の女性と現地男性の婚活イベント
現地の食材を利用した料理とともに、イベント実施



(高知県)

四万十町の食材PRを
都内で商談会を行い実施

「四万十町 食の商談会」
都内で10業者が商談会に参加し、
現地の食のPRを兼ねたイベントを実施



③サンケイリビング新聞社との協業



各機能の強化を目的として両社の融合を推進しており、直近では下記の施策を実施し、協業を加速

- **株式会社リビングプロシードの子会社化を完了**

- ✓ 流通・配布部門を融合し、両社の協業による売上増加施策の実施、統合効果によるコスト削減によって収益改善を図る

- **本社オフィス統合を完了**

- ✓ 11月26日に当社の本社オフィスをサンケイリビング新聞社本社ビルに移転し、両社の営業・管理部門のオフィスを統合

④人財OS事業（派遣・紹介）等の抜本の見直し **ぽど**

昨年度より投資をしていた人財OS事業・美容関連Webサイトに関して、抜本的な見直しを完了

- **人財OS事業（派遣・紹介）からの撤退を完了**

 - ✓ RIZAPグループ内での機能再配置によりRIZAPグループに人材派遣・紹介事業の業務を移管

- **美容関連Webサイトの一部閉鎖を完了**

 - ✓ 当社の営業分野・営業人員に照らして、収益性を確保できる分野にリソースを集中投下

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。